

月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構
いわき病院

第241号

令和7年6月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

信条

- ◆ 患者さん本位の医療を行います
- ◆ 患者さん及びご家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します

接遇研修



5月20日にフリーアナウンサー 鈴木もえみ先生 を講師にお迎えし「ハートのコミュニケーション」という演題でご講義をいただきました。もえみ先生は大学在学中より北海道放送にて TV・ラジオ番組を担当され、上京後は TBS 報道局に所属、報道レポーターとして約 3 年間活動されました。

また、フジテレビ「ひらけ！ポンキッキ！」の 8 代目のお姉さんとしてご活躍された方でもあります。現在に至るまでさまざまなジャンルの総合司会や朗読・読み聞かせなどでご活躍され、「ピンクリボンフェスティバル」など癌患者さんへの医療関係の支援活動にも積極的に関わられていらっしゃいます。

ご講義では、職業に関係なく「どんな場面でも、人として使えるコミュニケーションのコツ」と「言葉を替えるだけで、気持ちがあがる具体例」などについて、抑揚ある語りかけと向日葵のように明るく元気いっぱいの笑顔で私たちの心を惹きつけて下さいました。

今回の研修で学んだことを活かし、医療サービスの質の向上を目指したいと思います。

看護部長：村上 美佳

聴講したスタッフの感想



- 皆、誰かに見られているというお話に、自分の行動、言動には責任を持ち、一つ一つ意識しながら生活していきたいと思いました。
- うつ向かずに顔を上げて、ワントーン明るい声で、マスクをしていても口角を上げて、人と接していきます。
- ウソをつかない、まっすぐな気持ちが大事。技術は後からでもついてくるとの言葉が身にしみました。ごまかしたり逃げたり責任を押しつけたり、自己解釈の押し付けがどれだけ愚かかよく伝わりました。
- ハートが一番大切。愛を語れる大人でいたい。





看護の日イベント

5月14日（水）看護の日のイベントを開催しました。

今年度は血圧測定に加え、握力・視力・体液量測定を行いました。「次はどこに行こうかな」と楽しみながらまわられる方や「握力は、なかなか測る機会がないので測りたい」という声も聞かれました。管理栄養士による「栄養相談」やリハビリ科による「簡単な体操のレクチャー」もあり、多数ご来場いただいて賑やかに行う事ができました。病棟では患者さんへメッセージカードをお渡ししました。

今後も皆様が楽しめるようなイベントを開催したいと思います。

第1病棟 副看護師長：柳沼 奈津江



6月が発生多発！ 梅雨シーズンの食中毒に気を付けましょう！

いよいよ梅雨の時期がやってきますね。湿度も高く、じめじめした日が続くこのシーズンは菌の繁殖が活発になります。食中毒予防の3原則を知り、対策をしていきましょう。

食中毒予防の3原則 【付けない】 【増やさない】 【やっつける】

【付けない】

☆洗う!!

手には様々な雑菌が付着しています。生鮮食品を取り扱う前、トイレに行った後、鼻をかんだ後、動物に触れた後、食品を扱う調理前の手洗いが大切です。

☆分ける!!

生肉と他の物をつまむ箸を別にしたり、食器保管の際には密閉容器やラップを使用すると良いでしょう。

【増やさない】

☆低温保存する!!

食中毒菌には、繁殖しやすい温度（20～50℃）があります。作り置きをする時は、素早く冷ましてから冷蔵や冷凍をしましょう。特に冷めにくいカレーは要注意です！

生鮮食品やお惣菜は購入後できるだけ早く冷蔵保存し、早めに食べることが大切です。

【やっつける】

☆加熱処理!!

肉・魚はもちろん、野菜も加熱し、中心までよく火を通すことが大切です。

☆除菌!!

布巾、まな板、包丁などは洗剤でよく洗い、熱湯をかけたり、ハイターなどの台所用殺菌の使用もおすすめです。



飲みかけのペットボトル飲料からの食中毒にも注意が必要です！

直接口をつけて飲むとペットボトル内に細菌が入り、繁殖してしまう危険があります。

☆3～4時間を目安に、早めに飲み切りましょう。

☆冷蔵庫や保冷剤などで温度管理に気をつけましょう。

☆コップに移して飲むようにしましょう。

飲み残しのペットボトルのキャップを閉めて長時間放置すると、細菌の増殖により二酸化炭素が発生し、ペットボトルが膨張して破裂する可能性もあります。一度開封した飲み物は冷蔵庫で保管して、早めに飲み切ることが食中毒や事故防止のための鉄則です。食べ物だけではなく飲み物からの食中毒にも注意しましょう。



いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、小児科（小児神経疾患）、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30～11:30（ただし、急患につきましては電話にてご相談下さい。）
- 診療時間 8:30～17:15

外来担当医師一覧					
(令和7年4月1日 改定)					
	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
午前	内 科	診察室① 鈴木 栄	診察室② 尾澤 康彰	診察室① 鈴木 栄	診察室④ 佐藤 宏
		診察室② 尾澤 康彰		診察室② 佐藤 宏 ※ 9時30分～診療	
	脳神経 内 科		診察室③ 會田 隆志	診察室④ 石井亜紀子	診察室① 會田 隆志
				診察室③ 関 晴朗	診察室① 石井亜紀子
午後	外 科			診察室② 田崎 博	
	【予約制】 脳神経内科専門外来				
	神経難病 神経筋疾患		診察室① 関 晴朗 (脳神経内科)		
	【予約制】 小児神経外来 ※ 第2・第4週のみ の隔週診療となります。				
	小児神経 外 来	診察室① 柳沢 俊郎 (小児科)			診察室① 柳沢 俊郎 (小児科)

■ お知らせ ■

◆患者相談窓口
患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

◆当院受診について
他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院地域医療連携室を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 独立行政法人国立病院機構 いわき病院
National Hospital Organization Iwaki National Hospital
責任者 院長 石井 亜紀子
所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1
TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075
ホームページ <https://iwaki.hosp.go.jp/>